

議会だより

にらさき



初めての こども議会

7月29日、各小学校の6年生（20名）が、こども議員として一般質問を行いました。
【来年度は、中学2年生を対象に開催予定です。】

美術館条例制定	P2
インターネット配信開始	P5
ここが聞きたい(一般質問)	P6
こども議員(一般質問)	P12
こども議員(正副議長)インタビュー	P16

第137号

2008年8月

6月定例会は、

9日から20日までの12日間の会期で開催しました。

条例の制定や改正、補正予算など25議案を審議し、すべて可決しました。

一般質問は、7議員が登壇し、市政について市長の考えをたきました。

美術館条例制定

本市名誉市民である大村智氏（社団法人北里研究所名誉理事長、北里大学名誉教授）より、美術館の土地、建物及び美術品（絵画771点）等が寄附されたことに伴い、葦崎市美術館の設置、管理等に関し、開館時間や観覧料など必要な事項を定めました。

（平成20年10月1日から、市立美術館として管理運営を行います。）



葦崎大村美術館

神山町鍋山

【質疑】

（問） 指定管理者制度の導入は、どのように考えているか。

（答） 当分の間、市直営で行う。

（問） 小中学生が教材として観覧する場合は、無料とするのか、規則で定めるとなっているかどうか。

（答） 規則で、市内小中学生が教育課程で観覧する場合、障害者及びその介護を行う者が観覧する場合などは、無料と定めている。

（問） お年寄りの観覧料の優遇はあるのか。

（答） 敬老の日など年何日かは、無料の日を設けていく考えである。

【条例改正】

国保税を改正

基礎課税額の賦課割合、賦課限度額等の改正及び後期高齢者支援金等課税額の賦課限度額を定めました。



戸籍の公開制度を

見直し

戸籍法の一部改正により、戸籍の証明書を取得する要件等を制限するため、手数料条例を改正しました。

市営住宅の

生活安全

入居者及び周辺住民の安全と平穏を確保するため、市営住宅設置管理条例に、暴力団排除に係る規定を整備しました。

【一般会計補正予算】

5,730万7千円を追加し、総額119億5,850万7千円となりました。



北西小学校受水槽

□美術館管理運営費

補正予算額 ▶ 1,100万円

平成20年10月からの市の直営管理運営費及びセレモニー経費として。

□北西小受水槽ポンプ取替

補正予算額 ▶ 615万円

異物混入の原因が解明したことによる、受水槽ポンプの取替及び給食室給水管改修工事費として。

【財産譲与】

市で所有（平成元年ふるさと創生資金7,107千円で購入）していた滑空機（グライダー）を、葦崎市航空協会に譲与することを可決しました。



人権擁護委員

秋山泉氏（中央町）の任期が満了となることから、後任者の推薦について、市長より議会の意見を求める提案がされ、秋山氏を再任することに決定しました。



秋山 泉 氏

農業委員

任期満了となった農業委員の議会選任委員に、次の3名の方を議会で推薦しました。

瀧田とも子さん（一ツ谷）

伊藤 清美さん（円野町）

山主喜美子さん（旭町）

請願・意見書

採択

☆教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願書

（提出者）
 葦崎市PTA連合会
 会長 清水敏郎さん
 ほか3名

〈要旨〉

自治体の財政力や家計の違いによって、子どもたちの教育水準に格差があつてはならない。
 また、きめ細かな学習指導の展開、学校内外の安全対策などの推進が必要であり、教職員定数増を中心とした教育予算の拡充が求められている。

〈国への意見書の内容〉

- ①義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
- ②国における教育予算を拡充すること。
- ③教職員定数の改善を図ること。

採択

☆後期高齢者医療制度（長寿医療制度）の運用の改善を求める意見書の提出を求める請願

（提出者）
 葦崎市龍岡町
 中島美弥子さん

〈要旨〉

世界最高水準の国民皆保険制度を将来に渡って維持するためには、後期高齢者医療制度自体の骨格は維持しつつ、制度施行後に出された問題点については、真摯に改善に取り組み、より良い制度とすることが求められている。

〈国への意見書の内容〉

- ①低所得者の保険料軽減措置を拡大すること。
- ②保険料の年金天引きについて、高齢者の意見を踏まえて適切な見直しを講ずること。
- ③70～74歳の窓口負担1割の軽減措置を継続すること。等々

不採択

☆後期高齢者医療制度に関する意見書

（提出者）
 神田 明弘議員
 小林恵理子議員
 藤嶋 英毅議員

〈要旨〉

4月から実施された後期高齢者医療制度は、75歳で高齢者を差別するなど、様々な問題点があり、市内の高齢者からも非難の声が出されている。
 制度見直しの継ぎはぎは、わかりにくいこの制度をますますわかりにくく、複雑にしてしまう。
 高齢者が安心できる医療制度とするために、本制度は一旦廃止し、白紙に戻すべきである。

一問一答方式導入

6月定例会より、一般質問の2回目(再質問)の質問から、一問一答方式を導入しました。



白熱した論戦



ネットによる

本会議中継開始

6月定例会から、インターネットによる本会議のライブ中継を開始しました。
録画中継(各定例会・臨時会とも編集が終了し次第(約1週間後)もご覧になることができます。

アクセス方法 ▶ [韮崎市ホームページ](#) ⇒ 議会 ⇒ 議会中継

一 般 質 問

にらさきの まちづくり ここが聞きたい

7人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。
詳細な内容は、[韮崎市ホームページ⇒議会⇒会議録](#)で見ることができます。

図書館建設の 状況は

(問) 清水議員

図書館建設は、学校建設を優先させた事情もあり、棚上げ状態となっております。

いるが、いよいよという時期にきている。どのような考えをもっているのか。

(答) 内藤教育委員長

本年度策定する第6次

長期総合計画の中で検討していく。建設地等の選定については、平成14年の図書館建設構想委員会での基本方針を参考に、設置形態・場所・規模等を検討する。

市街地（駅前・本 町通り）の再生は

(問) 清水議員

以前のような商店街の復活は、大変難しい状況である。今般の駅前開発を機に、どの様に「まち」を再生していくのか。市としては、商店街再生のビジョンをどのように考えているのか。

が予想され、極めて困難な課題であると認識している。韮崎市まちなか活性化計画の中でも取り上げたとおり、事業者、商

工会、行政が三位一体となつて新たなソフト事業を開発・構築することが肝要であるとの考えから、積極的に参画していく。

(答) 横内市長

商店街の再生に関するビジョンについては、現実的には膨大な財源投入



駅前通り商店街



清水

一 議員

「市政クラブ」



望月 正澄 議員

「葦和クラブ」

穂坂町の自然公園 づくりは

(問) 望月議員

穂坂町の住民は、自然公園に期待を寄せるとともに、公園づくりの計画に参加したいと希望している。一般市民、小中学生等まさに市民協働参画による公園づくりを提案するがいかがか。

(答) 横内市長

事業の推進に向けては、穂坂町をはじめ、広く市民の皆様の協働参画を得る姿勢の中で取り組んでいく。

新規就農希望者への 支援策は

(問) 望月議員

農業振興を図るうえで、



農業従事者

最も重要なものは、農業生産を行う人「農業の担い手」である。意欲ある農業経営者を確保・育成するために、増加傾向にある新規就農希望者へ手厚い援助が必要であると考え、支援策はいかがか。

(答) 横内市長

県関係機関及び梨北農

業協同組合と連携を図りながら、葦崎市地域担い手総合支援協議会を中心に体制整備に努めている。

新規就農者に対しては、農業技術習得の研修先斡旋や資金支援相談、農地の貸借等の総合的な情報提供を行い、就農支援を図っている。

高齢者への 報奨制度創設は

(問) 山本議員

後期高齢者医療制度は、永い間、世の中のために尽くした人達に対して、心配りのない制度であると思う。

戦後の日本の復興と再建に大きな貢献をしてきた人達に、公共施設利用の無料化などの報奨制度を創設する考えがあるのかどうか。

(答) 横内市長

公共交通、公共施設の無料化は、受益者負担の原則もあり現時点では困難であるが、本年度策定する葦崎市高齢者福祉計画の中で、支援施策を総合的に検討していく。

鳥獣害対策は

(問) 山本議員

猿や猪などが畑に入れないように、多額の経費をかけて自己防衛している場所が多く見受けられる。国において新たに「鳥獣被害防止特別措置



徳島堰沿いの電柵

法」が成立したが、国や県の補助が受けられるようにするために、市はこの法律成立を見る中で、被害防止計画や有害鳥獣捕獲隊などの準備や策定に着手したのかどうか。

(答) 横内市長

法律の施行を受け、鳥獣が出没しないための住み分け方法や追い払い方法等について議論を重ね「葦崎市鳥獣被害防止計画(案)」を作成した。

今後、計画に基づき、国県等の補助金を活用し、鳥獣被害防止に努め農作物被害の軽減を図っていく。



山本 雄次 議員

「共伸クラブ」



神田 明弘 議員
〔日本共産党葦崎市議員団〕

後期高齢者医療制度の廃止の意見を国に

(問) 神田議員

国民の怒りは、年齢で差別し、高齢者を強制的に押し込んで、負担増と医療制限を迫るといふ非人間的な、この制度の根本にある。

制度を廃止し、元に戻して、財源問題も含め国民的な議論を行う必要がある。市は、国に意見をあげるべきであるが、見解はいかがか。

(答) 横内市長

現在、政府もこの制度の是正、見直しを検討し

ており、その動向を注視しながら、いましばらく見守っていく。



葦崎市の再生のために

(問) 神田議員

平成17年度版山梨県市町村民所得推計によると、5年前と比べ、葦崎市民の一人当たりの所得、

市内就業者数は大きく落ち込み、地域再生が、緊急の課題となっている。

地域振興の理念を明確にする「葦崎市地域振興条例」を制定すべきと考えるが、見解はいかがか。

(答) 横内市長

条例の制定にあたっては、市民の皆様が産業振興に積極的に参加していくという盛り上がりが必要であるので、慎重に調査研究していく。

住宅の耐震性強化への助成を

(問) 小林議員

耐震化は、予想される地震に対する防災・減災の重要課題であり、安価な耐震改修技術の普及や簡易補強、耐震シエル

ターなど、工夫を凝らした取り組みを進める自治体が増えている。市としても、検討すべきだが、いかがか。

(答) 横内市長

耐震改修には、「地震に対する意識の高揚」も大きな一因と認識している。

今後も、PRや啓蒙活動と併せ、改修費用負担、簡易補強等の補助も検討し、耐震改修の促進に努めていく。

男女共同参画の推進は

(問) 小林議員

本市の審議会等における女性の登用は、もっと推進していく必要がある。平成15年につくられ

た「輝いてひらめいて葦崎プラン」は、目標年度の半分が経過し、検証する必要があると考えるが、見解はいかがか。

また、教育現場での男女共同参画の推進状況と中学校での混合名簿導入は、いかがか。

(答) 横内市長

「葦崎プラン」の推進状況についての検証は必要と考えるので、今後、検証作業を行っていく。

(答) 興水教育長

教育現場では、「男女が共に生き生きくらす社会づくり」について、社会科の教科を通して指導している。中学校2校の混合名簿導入については、今後、学校現場と協議しながら検討していく。



地震により倒壊した建物



小林 恵理子 議員
〔日本共産党葦崎市議員団〕



森本 由美子 議員

「公明党」

ファミリー・サポートセンターの利用料軽減を

(問) 森本議員

センターが開設され約1年が経過したが、料金が高くて預けられないという声がある。ひとり親家庭や低所得者の家庭については、利用料軽減措置を図るべきだがいかがか。

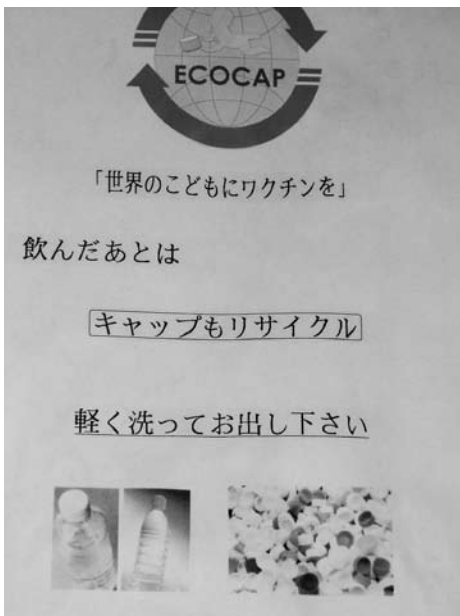
(答) 横内市長

今後、より利用しやすい制度にするため、利用料に軽減制度を設けることも含め、総合的に検討していく。

ペットボトルのキャップ(エコキャップ)収集を

(問) 森本議員

全国的に「ペットボト



エコキャップへの取組(市役所内)

ルのキャップで世界の子どもにワクチンを届けよう」という運動が推進されている。キャップ800個で子ども一人分のワクチンが買え、また再資源化することで、地球温暖化防止にも繋がる素晴らしい取り組みであり、市でも取り組まれたらどうかと考えるがいかがか。

(答) 横内市長

現在、キャップは、燃えるごみとして処理している状況であるが、早速市役所内で実施するため、回収ボックスを設置する。
今後、回収及び収集方法等の仕組みについて検討し、実施に向け取り組んでいく。

図書(管理)検索システムの導入を

(問) 小林議員

市立図書館は、いまだにカードによる図書管理・検索であり、他の図書館との連携も電話やメールなどで対応している。図書館利用者が、インターネットでの検索、予約などができるシステ

ムを導入し、利便性を確保することが望まれるがいかがか。

(答) 横内市長

図書館構想は、第6次長期総合計画の中で検討していくが、システム導入については、図書館建設構想委員会が作成した基本方針を参考に整備していく。

まちづくり寄附条例の制定は

(問) 小林議員

自治体や住民の選んだ政策メニューに対して、団体や個人から寄附を募り、それを財源に政策を実行する「寄附条例」の導入が広まっている。自治体にとっての自主財源の確保と同時に、住民参加型の政策推進を促す効果があるとされているが、市においても、条例を制定することを提案するがいかがか。

(答) 横内市長

4月の地方税法の改正を受け、新たに始まるふるさと納税制度「ふるさとにらさき応援寄付金」の状況をみながら、条例制定について検討していく。



市立図書館受付



小林 伸吉 議員

「公明党」

委員会活動報告

総務教育常任委員会

《請願審査》

・教育予算を拡充し、教育の機会均等と維持向上を図るための請願書

↓ 採択すべきものと決定

《審議内容》

各課長から、現状報告と概要説明を求め、質疑を行った。

- ・防災、耐震対策について
- ・情報公開について
- ・入札予定価格の事前公表について
- ・市民バス利用状況について
- ・職員の人事評価制度導入について
- ・こども議会開催について
- ・開運なんでも鑑定団について
- ・要望書について



市民生活常任委員会

《陳情》

・過剰な農業取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情書

《審議内容》

各課長から、現状報告と概要説明を求め、質疑を行った。

- ・耕作放棄地（雑草）の指導について
- ・1 ha以上の遊休農地について
- ・観光案内板について
- ・企業移転について
- ・市営住宅について
- ・下水道工事予定箇所について



《請願審査》

・後期高齢者医療制度（長寿医療制度）の運用の改善を求める意見書の提出を求める請願

↓ 採択すべきものと決定

《審議内容》

各課長から、現状報告と概要説明を求め、質疑を行った。

- ・市指定ごみ袋の変更について
- ・特定健診の開始について
- ・高齢者福祉計画策定について
- ・児童虐待の状況について
- ・滞納整理機構の設立について
- ・インターネット公売（差押品）について

産業建設常任委員会

《陳情》

・過剰な農業取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情書

《審議内容》

各課長から、現状報告と概要説明を求め、質疑を行った。

- ・耕作放棄地（雑草）の指導について
- ・1 ha以上の遊休農地について
- ・観光案内板について
- ・企業移転について
- ・市営住宅について
- ・下水道工事予定箇所について



《甘利山現地調査》審議終了後

・レンゲツツジの開花、保全状況
・クマササ等下草状況



研修 行政視察 レポート

■ 夏季研修



太陽光発電施設

7月24日、北杜市の「新エネルギービジョンについて」現地視察しました。



水力発電施設

■ 山梨県市議会議長会議員 合同研修

8月7日、県内の市議会議員合同研修会が都留市で開催されました。

当日は、県内から300名以上が参加して「分権時代における地方議会の活性化」について学びました。

■ 常任委員会合同研修



瑞浪市

7月1日・2日の2日間、常任委員会(3委員会)合同で行政視察を行いました。

【1日】 岐阜県瑞浪市

- ◎瑞浪市における議会改革について
- ・一般質問の一問一答方式について
- ・議員定数削減について

【2日】 愛知県江南市

- ◎地域再生計画について
- ◎いこまいCarについて



江南市

こども議会 一般質問

18人のこども議員（市内の小学生）が、市政について質問しました。



清水 剛 議員
(葦崎小)

環境を守る市の 取り組みは

(問) 清水議員

昨年、僕たちは、キッズ・S・Oをやらせていただき、リサイクルなどが重要なことを知りました。

葦崎市でも、ごみの分別収集やリサイクルをしていることは知っていますが、市全体で環境を守るために何か取り組んでいることはありますか。

(答) 横内市長

葦崎市では、ゴミが出ない、出さないを目指して、ごみの減量化に取り組んでいます。

その方法として、新聞紙やチラシ・ダンボール・ペットボトル・アルミ缶等の再利用できる資源ごみがあるので、その分別の徹底を行っています。

また、エコパーク竜岡のごみ処理場の見学を含め、環境教育の実施や市広報紙による啓蒙活動なども強化しています。



坂本 莉翔 議員
(葦崎小)

市立図書館を 利用しやすく

(問) 坂本議員

市立図書館といえば坂の上にあるという印象がありますが、階段が多く、お年寄りの方々や子どもたちが坂を上るのに少し大変だと思います。

市立図書館を使いやすく、より多くの人に利用してもらうために、施設にはどんな工夫や計画があるのか教えてください。

(答) 内藤教育委員長

今までに多くの方々図書館を利用していただくために、道路の側溝にフタをしたり、階段に手すりを付けるなど、安全面も含め整備してきました。

現状では、これ以上の整備は場所的な面も含めて難しいと考えております。

今後、市民の皆さんのお考えを参考に、新たな場所への図書館設置も、検討してまいります。



青木 友哉 議員
(葦崎小)

安全についての 取り組みは

(問) 青木議員

夜の道では照明がない暗い道があったり、危険なところがたくさんあります。

それに、最近事故が多く、よく見かけることがあります。安全について、市ではどんな取り組みをしていますか。

(答) 横内市長

暗い夜道などの安全確保のために、地区からの要望により防犯灯を設置しています。

また、交通事故防止のために、カーブミラーの設置や専門交通指導員による交通指導や交通安全教室、春と秋の交通安全週間の時には、防災無線でお知らせするとともに、警察、交通安全協会などと協力したり、街頭指導を実施し、交通安全に対する意識を高め、交通安全の防止に努めています。

ごみを捨てない 取り組みは

(問) 平賀議員

穂坂地区は、茅ヶ岳の裾野に広がり自然が多くありますが、その山の中に生活でいらなくなったごみを捨てる人がまだいます。

「ごみを捨てないように、人々の心に働きかける取り組みとして、どんなことをしていますか。」

(答) 横内市長

山などへの不法投棄に対しては、定期的にバトロールを行い、捨てられたごみから捨てた人を探し出して、注意したり片付けてもらっていますが、全体的には追いついていないのが現状です。

皆さんが学校で教わったような「ゴミゼロ活動」の考え方ももっと多くの人々に理解してもらおうような、啓蒙活動や分別リサイクルの教育や仕組みづくりに取り組んでまいります。



平賀麻莉奈 議員
(穂坂小)



石川 麗奈 議員
(穂坂小)

お年寄りと地域が 一緒に生活できること

(問) 石川議員

穂坂小では、地域の行事との関わりが多くあります。学校に來られるお年寄りの方はいいのですが、來たくても來られない方や一人暮らしのお年寄りの方々もいます。

「これからも地域と一緒に生活して、生き甲斐のある生活をしていけるようになればいいと思いますが、取り組みを教えてください。」

(答) 横内市長

公民館を利用して一人暮らしのお年寄りを招いてレクリエーションを楽しむ「いきいきほつとサロン」や一人暮らしのお年寄りのお宅などに、食事を配達するサービスなどを行っています。

穂坂小のように子ども達と地域のお年寄りとの絆で結ばれた取り組みが一番大切なことであり、これからは是非、続けていってください。

子ども医療費 助成制度の延長を

(問) 河野議員

僕は、目のアレルギーで、一年中目薬をつけていますので、子ども医療費助成制度には、本当に助けられています。しかし、僕が中学生になるとこの制度が使えなくなります。

「今、東京では「中学3年生まで」対象を上げたそうです。期間延長や特例はないですか。なければ、新しく市で作る計画はないですか、教えてください。」

(答) 横内市長

医療費助成制度には、多くの税金が使われています。助成制度の枠を拡げる計画、また期間の延長や特例を設けることは、現時点では市全体の財政運営が厳しい状況であることを理解していただき、もう少し時間をかけてじっくりと分析し、研究していきたいと考えています。



河野 倫也 議員
(葦崎北東小)



浅川 茉由 議員
(葦崎北東小)

児童館の交流を

(問) 浅川議員

私の両親は共働きなので、ほぼ毎日、学校からまっすぐ児童館に行き、過ごしています。

「私が思うことは、夏休みと冬休みに1回ずつ違う児童館の子どもたちと一緒に遊んだり、話したりなどの交流ができないかということですね。そうすれば、葦崎じゅうに友達のつながりがふえると思います。」

(答) 横内市長

市内には、4つの児童センターと1つの放課後子ども教室があり、いろいろな催し物を計画しています。

他の児童センターや放課後子ども教室は自由に利用できますので、各児童センターごとの交流事業をしたい時は、センターの指導員がコーディネートをお願いしますので、お友達と相談して、他の児童センターも活用し、他の地域の友達との輪を広めてください。

環境税の導入を

(問) 中込議員

僕は、ガソリン税率を減らして、その分環境税を導入したらどうかと思います。

僕が考える環境税は、二酸化炭素などを排出するものに対する税のことで、会社や自治体、家庭などにかかる税金です。環境税をつくって、地球環境のために使うといいと思います。

(答) 横内市長

ガソリン税は国の税金なので、葦崎市では減らすことができませんが、環境税を導入することは可能です。

二酸化炭素は、私たちの活動に比例して排出されますが、税金を多くとって、排出量を減らすと社会活動などが活発でなくなり、私たちの生活も不便になったり、多くの影響が出てしまう恐れがあります。今は導入する考えはありませんが、環境対策に力を入れていきたいと考えています。



中込 平 議員
(葦崎北東小)



小川 樹 議員
(葦崎北東小)

文化財を生かした 取り組みを

(問) 小川議員

葦崎市には、たくさんの方の文化財があります。この文化財を利用して、見所別の文化財めぐりコースなどを作って、みんなに見てもらってはどうかでしょうか。

たくさんの方が関心を持ってくださるような、クイズラリーなどの遊び心を入れた企画もいいと思いますので、提案します。

(答) 奥水教育長

現在、季節ごとに史跡めぐりウォーキングや、新府城跡をはじめとする遺跡の見学会などを、年間を通じて行い、市内外から多くの方々に参加していただいています。
ご提案のクイズラリーなどの遊び心を取り入れた企画は、大変よいご意見ですので、今後の開催に向けて参考にしていきたいと考えます。

地域のイベントや 祭りの宣伝方法は

(問) 橋本議員

僕の住んでいる中田町には、「新府のお祭り」や「桃の花祭り」があります。

僕は、この町が大好きだから、このようなイベントを続けて、これからもこの町の良さをたくさんの人に見てもらいたいと思います。

たくさんの人に来てもらうために、どのような宣伝をしているのか聞かせてください。

(答) 横内市長

葦崎市には、「お新府さん」や「中田町のホテル祭り」「花火大会」「武田勝頼公新府入城祭り」などのお祭りやイベントがあります。

宣伝の方法は、広報にらさきやホームページへの掲載、新聞広告、ポスター・チラシの作成、パンフレット、観光キャンペーンなど、いろいろな手段を活用して、積極的なPRに努めています。



橋本 友圭 議員
(葦崎北東小)



山本 夏樹 議員
(葦崎北西小)

農業を増やすための 取り組みは

(問) 山本議員

最近では、昔からの米づくりを引き継ぐ人がとても減ってきているそうです。

自然や生き物を相手にするだけでも大変なのに、収入が少なかつたり、機械を買うのに大きなお金がかかたりするからだと思います。

市では、農業をやっていく人を増やすために、どんな取り組みを行っていますか。

(答) 横内市長

山梨県やJ A 梨北などと連携を図りながら、新たに農業をしたいという方には農業技術の習得方法や農業経営改善のための研修会、空いている農地の情報提供を行っています。

また、農業機械を購入したい方には、低い金利で借りられる方法を説明するなど、いろいろな面から農業を行う方々を応援しています。

コンビニの深夜閉店は

(問) 山田議員

私は、5年生の時、キッズ・SOの取り組みを通して、地球が病んでいることを知り、環境問題に関心を持つようになりました。コンビニは、いつも開いていて便利ですが、深夜はお客様も少なく、そのために電気を使うのはもったいないと思います。地球温暖化対策として、葦崎市もコンビニに深夜閉店をすすめていく予定はありますか。

(答) 横内市長

コンビニが深夜営業をやめても二酸化炭素の削減量は大きくはなく、葦崎市のような田舎の場合は、公共的な役割を果たしたり、地域の人々の生活に役立っている面もあり、危険があるときに駆け込める、地域の安全の面からも必要であるとの考え方もありますし、商売をしている方の事も考える必要がありますので、慎重に検討していきます。



山田 真珠 議員
(葦崎北西小)

図書館について

(問) 堀内議員

葦崎市には、立派な文化ホールや運動施設やゆ〜ぶるなどがあり、小中学校もとても立派です。ただ一つ図書館がもう少し大きければいいと思います。他の市の図書館と比べると、葦崎の図書館は使いづらいです。

一つの提案として、駅前のルネスを図書館として利用するのはどうでしょうか。空いているビルを活用したらいいと思います。

(答) 内藤教育委員長

ルネスを図書館として利用することは、市としても最も良い場所だと思えますが、この建物は市の所有ではなく、現在もショッピングセンターとして利用されています。現在図書館にあるたくさん本を管理・保管するには、建物の構造など、今の状態で、そのまま図書館として利用することは、非常に難しいと考えられます。



堀内 彩加 議員
(葦崎北西小)

甘利小学校の耐震は

(問) 小野議員

耐震診断に、合格していない公共の建物がたくさんあるという新聞記事を読みました。葦崎市の公共施設は、耐震基準に合格しているのでしょうか。僕たちの甘利小学校は、建てられて26年目になりますが、大きな地震がきたときに耐えられるのでしょうか。

(答) 興水教育長

葦崎市では、北西小学校の耐震補強工事をはじめとして、甘利小学校ほか6校の耐震補強を最優先で実施し、本年度完成する西中学校の工事で全て完了します。

皆さんの安全安心を守るとともに、万が一地震が来たときの、地域の方々の避難場所としても活用することから、公共施設の中で多くの費用をかけ、他の市より先に耐震基準に基づき設計し、工事を実施したので心配ありません。



小野 龍信 議員
(甘利小)



飯村 凱 議員
(甘利小)

新図書館建設の計画は

(問) 飯村議員

市立図書館まで行くためには、狭い道や急な坂を通らなければなりません。

また、駐車場が狭いため、車を止められない時もあります。そのため、近隣の市の図書館を利用する人が多いと聞きます。

新しい場所に、今の図書館よりも大きくて、利用しやすい図書館を建設する計画はあるのでしょうか。

(答) 内藤教育委員長

新図書館の建設計画については、平成12年に市民の皆様から図書館の面積や形態・蔵書数などのご意見を伺い、基本的な計画を作成しましたが、当時と社会情勢が大きく変わっていることから、来年度より再度、建設について、多くの方々からご意見を伺い、検討していく考えであります。

変則的な交差点の改善は

(問) 水島議員

旧竜岡小学校の西側にある「つばいやさん(守屋商店)」が移動しましたが、向かい側の家は移動していません。変則的な交差点が今後、使いやすくなるのでしょうか。

どのような計画になっているのか教えてください。

(答) 横内市長

以前から改修する予定でしたが、県内には、このような交差点が何カ所もあり、また大変な予算を必要とすることから、今まで着工できませんでした。地元の皆様方の交差点改修の強い要望を頂き、県と市が協力して、昨年度より一部工事に着手し、本年度中には、家の移転も完了予定であります。

平成22年度完成を目指し、安全な交差点に生まれ変わりますので、もうしばらくお待ちください。



水島 駿 議員
(甘利小)



小澤 奈央 議員
(甘利小)

中央公園の遊具の点検は

(問) 小澤議員

中央公園には、サッカー場、陸上の大会ができるトラックがあります。休日には、ミニSSLにも乗れます。広くて緑が多く、遊具も有りがたくさん遊べます。

しかし、遊具が古いための事故が起こることがあります。中央公園の遊具は、定期的に点検され、安全面では心配ないのでしょうか。

(答) 横内市長

中央公園には、いろいろな遊具が設置してあり、多くの子ども達に楽しんで頂いておりますが、事故が起きないように、年2回、専門の会社に定期点検と修理をお願いし、また市の職員も2ヶ月ごとに、故障や危険な箇所がないかを点検しており、皆様の安全を常に注意しながら見回っておりますので、安心してください。

市立病院の診察を午後も

(問) 千野議員

市立病院は、午後は小児科が休診となっています。なぜ、午後は休診なのですか。午後でも具合が悪くなったりするので、午後も診察してくれるとありがたいです。どう考えているのでしょうか。

(答) 横内市長

外来の診察時間は、全ての診療科が、原則午前中となっております。

病院の医師達の午後の仕事には、入院患者の診療や手術、そして手術後の患者の検診等がぎっしり詰まっています。

また、小児科の医師は、予防接種や乳幼児検診などの仕事を別に持っています。

このようなことから、医師達が午後の診察時間をつくることは非常に難しい状況にあるため、午後は原則休診となっております。



千野 穂香 議員
(甘利小)

こども議員インタビュー

一生入ることがないと思う議場に入れて、しかも議長をすることができて、とてもよい経験ができた。



こども議会議長
中澤 花恋さん
(韮崎小)



こども議会副議長
横森 圭くん
(穂坂小)

とてもうまくできて良かった。将来また議場に入れるような仕事に就いてみたいと思った。

編集後記

こども議会が開催され、行政や議会の仕組みについて、小中学生の頃から学ぶことは、子ども達にとって貴重な体験であり、韮崎市の将来にとっても大変有意義なことであると感じました。

我々議員は、参加された子ども達や将来を担う子ども達全員が、安心して暮らせるようなまちづくりを、なお一層推進してまいります。

また、一般質問の一回

一答方式の導入、議会映像のネット配信と議会改革を進めておりますが、今後も議会の活性化と開かれた議会を目指し、改革に取り組んでまいります。

市議会議長 石井 錦一
副委員長 嶋津 鈴子
委員 清水 一
委員 矢崎 六彦
委員 野口 紘明
委員 一木 長博
委員 横森 宏尹

- 9月 8日 開会
諸報告
市長所信表明
- 16日 一般質問
- 17日 一般質問
- 18日 議案審議
委員会
- 19日 決算特別委員会
- 24日 議案審議
閉会

※定例会は、どなたでも傍聴できますので、是非、傍聴にいらして下さい。(委員会の傍聴は事前の申し出が必要です。)

9月定例会予定